

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	PCB廃棄物対策推進費補助金		担当部局	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始年度：平成13年度 事業終了予定年度：平成28年度		担当課室	産業廃棄物課		産業廃棄物課長 廣木 雅史		
会計区分	一般会計		施策名	4-4 産業廃棄物対策（排出抑制・リサイクル・適正処理等）				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人環境再生保全機構法(第16条第3項、第10条第1項第5号) ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB特措法)(第5条第1項、第6条第1項)		関係する計画、通知等	PCB廃棄物処理基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国の主導により日本環境安全事業(株)を活用して処理施設を整備し処理を実施するとともに、(独)環境再生保全機構に設置したPCB廃棄物処理基金を都道府県と協調して造成し、費用負担が困難な中小企業者の処理費用負担軽減のための助成を行うことにより、PCB廃棄物の円滑な処理を促進するもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国において、本補助金により、都道府県と協調してPCB廃棄物処理基金への造成を行い、同基金から処理事業者(日本環境安全事業株式会社)に対して中小企業者の費用負担軽減に必要な額を支出することにより、中小企業者の処理費用負担を軽減し、PCB廃棄物の早期かつ円滑な処理の促進を図る。具体的には、平成13年度以降継続的に、国及び都道府県においてそれぞれ毎年度20億円を基金に造成し、平成23年度においても15億円の造成を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	2,000	2,000	1,500	1,500	1,500	
	執行額	2,000	2,000	1,500				
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(28年度)
	PCB廃棄物(高圧トランス等)全体累積処理台数		成果実績	件	58,364	88,765	120,177	329,500
			達成度	%	17.7%	26.9%	36.5%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	中小企業者助成金額		活動実績(当初見込み)	百万円	1159 (1,900)	1,464 (1,900)	1,716 (1,900)	— (3,000)
単位当たりコスト	中小企業者1件当たりの助成額(319,237円/件)		算出根拠	平成23年度助成実績額(1,716,217千円)/助成件数(5,376件)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	産業廃棄物適正処理推進費補助金	1,500	1,500					
	計	1,500	1,500					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	PCB廃棄物の早期かつ円滑な処理の促進を図るため、国が補助事業を実施する。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	基金造成先において、適正に中小企業者が保管するPCB廃棄物の処理に係る助成業務がなされ、想定された成果が得られたことを随時把握・確認している。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	費用負担が困難な中小企業者の処理費用負担軽減のための助成を行うことにより、PCB廃棄物の円滑な処理が促進されているものとする。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>交付要綱等に基づき限られた予算内で確実に基金が造成されているとともに、基金造成先において、適正に中小企業者が保管するPCB廃棄物の処理に係る助成業務がなされ、想定された成果が得られたことを随時把握・確認している。引き続き、中小企業者が保管するPCB廃棄物の処理が促進されるよう、着実な執行に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き基金による助成の成果を把握・確認し、PCB廃棄物の処理が促進されるよう効率的かつ効果的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>事業仕分け第3弾(再仕分け) 事業番号B-11 PCB廃棄物対策推進費補助金 評価結果 中小企業におけるPCB廃棄物処理の加速化が見られないままでの漫然とした積み立てについては、予算計上は見送り。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	142	平成23年行政事業レビュー	133

※平成23年度実績を記入

環境省
1,500百万円

・独立行政法人環境再生保全機構法及びPCB
廃棄物処理基本計画に基づく補助



【補 助】

A.独立行政法人環境再生保全機構
1,500百万円

・補助金のPCB廃棄物処理基金としての造成
・中小企業者のPCB廃棄物処理に係る費用負
担軽減のための助成

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.独立行政法人環境保全再生機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	PCB廃棄物処理基金の造成	1,500			
計		1,500	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人環境再生保全機構	PCB廃棄物処理基金の造成、中小企業者のPCB廃棄物処理に係る助成	1,500	—	—